

市立川島中だより第17号

令和元年10月4日発行

吉野川市立川島中学校

文責：学校長

TEL 25-2734

〈いよいよ新人戦です〉



「スラムダンク」の言葉です。県大会決勝、残り時間わずか12秒で相手ボールとなります。三井も負けを意識し諦めかけてしまいます。そのとき、来賓席に転がったボールを拾い上げた安西先生が言ったのがこのセリフです。「最後まで…希望を捨てちゃいかん。あきらめたらそこで試合終了だよ」この言葉によって三井は試合を諦めずに最後まで全力を尽くします。

さて、私は大会があるたびに「スラムダンク」のこのシーンを読むことにしていました。スポーツですから負けることもあります。でもあきらめないこと。とても大事なことだと思っ

ています。

また、バレー部では必ず試合間に仲間と歌う歌がありました。大事万ブラザーズの「それが大事」もその一つです。

負けない事・投げ出さない事・逃げ出さない事・信じ抜く事

駄目になりそうな時 それが一番大事

負けない事・投げ出さない事・逃げ出さない事・信じ抜く事

涙見せてもいいよ それを忘れなければ、Oh



ちょっとした部の応援ソングです。曲を変えることもありましたが、全員で手をつないで歌います。会場から拍手が起こるくらい元気に歌えれば、それだけで会場の観客を味方にもできたように思えます。なによりも気持ちを表現することで自信がみなぎると同時に大きな声を出すことで、落ち着いたように思えます。部によっていろいろなモチベーションを高める方法があります。どうか応援よろしく願いいたします。

大嶋啓介さんの「夢の叶え方」と題して講演会を開きました。「present＝現在」という話がありました。自分の誕生日に祝っていただいたことはあっても、「生んでくれてありがとう」と母親に言ったことは、この年になってもありません。母親の誕生日にプレゼントをしても、自分の誕生日にはもらってばかりのような気がします。今度、自分の誕生日には母親に感謝の言葉を言おうと思いました。

また、楽しい人生を送るために、自分を信じるのが大切だとお話がありました。ずっと涙を流しっぱなしでした。大嶋さん、ありがとうございました。